

脱炭素に向けて 私たちができること

世界は今、地球温暖化を防ぐため、温室効果ガスの排出量削減などの脱炭素に取り組んでいます。地球の未来のため、一人ひとりが意識して温暖化防止対策に取り組み、脱炭素社会を実現しましょう。

お問い合わせは環境政策室☎421-6767へ。

温室効果ガスの削減目標

近年、人間活動の拡大に伴って、温室効果ガスが大量に大気中に排出されることで地球温暖化が進んでいると言われています。

本市でも、過去30年で年間の平均気温が約1.7℃上昇し、台風被害や熱中症による搬送が増えるなど、気候変動の影響が顕在化し、今後さらに深刻化するおそれがあります。

国は、地球温暖化対策計画の中で、削減目標として、2030年度において温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指しており、家庭部門にも66%の削減を求めています。

できるところから始めましょう

なぜ、私たち一人ひとりの行動が必要なのでしょう。「脱炭素」と私たちの暮らしは関係ないと思っている人もいるかもしれませんが、衣食住・移動など、私たちが普段の生活の中で消費する製品・サービスの製造、流

通などの際に生じる温室効果ガスが、国のCO₂の排出量の約6割を占めています。

このため、無駄をなくし、環境負荷の低い製品やサービスを選択するなど、ライフスタイルを見直すことが大切です。

国は、日常生活における脱炭素行動などを「ゼロカーボンアクション30」として整理しています。脱炭素社会の実現に向けてできることから取り組み始めましょう。

ゼロカーボンアクション30の取り組み項目は下表のとおりです。詳しくは、右のコードから環境省ホームページへ。

出典：環境省「COOL CHOICE」ホームページ



ゼロカーボン アクション30

<p>エネルギーを節約・転換しよう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 再生エネルギーへの切り替え 2 ケールビス・フォームビス 3 節電 4 節水 5 省エネ家電の導入 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る 7 消費エネルギーの見え易化 	<p>環境に配慮した住まいを検討しよう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 太陽電池の設置 9 ZEH（ゼッチ） 10 省エネルギーフォーム窓や受熱の断熱リフォーム 11 蓄電池（EV・車載の蓄電池）、蓄エネ設備物の導入・設置 12 暮らしに木を取り入れる 13 分譲も賃貸も省エネ物件を賃貸 14 働き方の工夫 	<p>交通・移動手段で環境配慮ができます。</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 15 スマートムーブ 16 ゼロカーボンドライブ 	<p>食品・食材の無駄をなくそう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 17 食事量を控えすぎない 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫 19 旬の食材、地元の食材でつくった産直を取り入れた健康的な食生活 20 自宅でコンポスト
<p>衣類・ファッションでもサステナブルを!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 21 今持っている服を長く大切に着る 22 長く着られる服をじっくり選ぶ 23 環境に配慮した服を選ぶ 	<p>家庭ゴミを減らす工夫をしよう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 25 修理や修理をする 26 フリマ、シェアリング 27 こまめな分別処理 	<p>買い物や投資でも環境配慮ができます。</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 28 脱炭素型の製品・サービスの選択 29 個人のESG投資 	<p>環境活動に積極的に参加しよう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 30 植林やこみぬい等の活動

学校における地球温暖化対策

学校でのESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）の取り組みの中から地球温暖化対策について紹介します。

勝田台中学校では「SDGs目標7エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の達成に向け、身近なところに潜むエネルギー問題に目を向けることをテーマに、理科や社会などの授業で、地球温暖化について学んでいます。

1年生の社会の時間では、世界の地形や気候を扱う際に、近年の地球温暖化を含む気候変動の実情を学び、自分たちにできることを

考え、発表する時間をとりました。

2年生の理科の時間では、種類の異なる電球の電気エネルギーの消費量の違いを計算しました。LEDはエネルギー効率が高く、CO₂の排出量も減らすことができるほか、寿命



▶大和田南小学校のえがお学級

も蛍光灯の約3倍の40,000時間と長持ちします。生徒たちは、家庭でも積極的にLED電球を使うことで、消費エネルギーの減少に協力できることを学習し、身近なところから地球温暖化について考えました。

大和田南小学校のえがお学級では、電気について考えるために、「えがお遊園地」を作りました。「えがお遊園地」では、手回し発電や足こぎ発電、ソーラーパネルなどを使って、実際に電気を作り、模型の電車を動かしました。電気の大切さについて、身近な問題として学ぶことができました。

(教育委員会指導課☎481-0301)

広告

広告